

## WindowsNTサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver.6.16R00 → Ver.6.17R00)

2005年3月18日  
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

WindowsNTサーバー版が Ver.6.17R00 にバージョンアップされました。  
変更点は以下のとおりです。

### 機能改善

#### GlobalFamily4.00対応

GlobalFamily サーバー全般	GlobalFamily Webクライアント4.00R12に対応しました。詳細は <a href="#">GlobalFamily Webクライアント4.00R12のバージョンアップ内容</a> を参照してください。
------------------------	--

#### GlobalDoc SAFER対応

GlobalFamily サーバー全般	GlobalFamily オプション「 <a href="#">GlobalDoc SAFER</a> 」Ver.3.00 以上 (Linux版)に対応しました。ご利用には別途「 <a href="#">GlobalDoc SAFER</a> 」が必要です。
------------------------	---

#### GlobalFlow

プロトコル up_bg	バックグラウンド遂行時にエラーが発生した場合、エラーメール送信先として、テンプレート管理者を指定できるようになりました。詳細は「GlobalFamily WindowsNTサーバー版 運用手順書(2) サーバ環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_fb30	起案前保留していた書類を開いて起案する場合、宛先は起案前保留時点で決定していましたが、起案時点で決定するように改善しました。
プロトコル up_f447	マスターテンプレートの所属グループを別グループにして更新しても、新所属グループに対する参照権が自動では設定されませんでした。自動で設定されるように改善しました。
プロトコル up_f740	マスタープロセスの所属グループを別グループにして更新しても、新所属グループに対する参照権が自動では設定されませんでした。自動で設定されるように改善しました。
プロトコル up_f460 up_fb30	個人の完了書類からのメール送信ができる機能を追加しました。詳細は「GlobalFamily WindowsNTサーバー版 運用手順書(2) サーバ環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_fb30	ビューアーデータに表示されるユーザーの所属名を、グループ名称ではなくユーザー情報中の所属名称にする機能を追加しました。ただし、過去に作成されたビューアーデータは変更されません。詳細は「GlobalFamily WindowsNTサーバー版 運用手順書(2) サーバ環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_fb30	テンプレートの保存種別を「分割する」又は「両方保存」に設定していた場合でも他管理地域サーバーのGlobalDocに登録できるようになりました。

## 基本機能

プロトコル up_813040	ASP版でグループ管理者が自分で登録した上位継承されていないグループを更新・削除できないため、ASP版ではグループ管理者は配下グループ全てを管理できるように対応しました。
--------------------	---

## ユーティリティ

up_delu	不在ユーザー/グループの不要データの削除ユーティリティに配布コード不要データ削除オプション(-dist)を追加しました。このオプションを指定して実行すると、配布先コードが不在ユーザーの場合、配布先コードを削除します。
nwf_deld	ワークフロー不要データ削除で、保存日数に関係なく、完了後日数を指定して完了書類を削除できるオプション(-e)を追加しました。詳細は「GlobalFamily WindowsNTサーバー版 運用手順書」のnwf_deld (nwf_ck05)をご参照ください。

## インストーラー

	データベースとサーバーアプリケーションをそれぞれ別環境に構成する場合のインストール(Oracle Net接続が確立されていることが前提)に対応しました。
	表領域作成時に自動セグメント領域管理設定オプションを選択できる機能を追加しました。自動セグメント領域管理にて表領域を作成すると、表やインデックスの空き領域をデータベースが管理するため、効率的に利用できるようになります。なお、この機能は、Oracle9i以降のみ選択できる機能です。詳細は「GlobalFamily WindowsNTサーバー版 導入マニュアル(4.2) アプリケーションの導入」をご参照ください。

## ツールキット

tk_ucug	OC区分(ユーザの処理情報 新ユーザ情報対応)にて、言語情報を登録・更新できるようにしました。
tk_ruser	OC区分(ユーザの処理情報 新ユーザ情報対応)にて、言語情報を出力できるようにしました。

## ウィルスチェックオプション

プロトコル up_bg up_prot up_ptop	ウィルスパターンファイル更新が同時に複数のプロセスで実行されないように改善しました。パターンファイル更新によるサーバーへの負荷を軽減できます。
--------------------------------------	---

## 不具合修正

### GlobalDoc、GlobalForum

プロトコル up_e440 up_e460 up_e471 up_e4a3	Globalサーバーの設定で「更新セキュリティの下層への継承」を「する」とした場合、フォルダー更新権が下層に引き継がれない場合がある不具合を修正しました。
---	---

up_81e471	
-----------	--

#### GlobalSchedule

プロトコル up_81a840	会議開催スケジュールの登録、または更新時に、メンバーが64人以上設定されていると「登録処理要求が集中してスケジュール登録に失敗しました。」のエラーが発生してしまう場合がある不具合を修正しました。
プロトコル up_81a850	会議開催スケジュールの削除時に、一旦承認された後に否認された会議室・施設の予約管理者に対しても、利用取り消しメールが送信されてしまう不具合を修正しました。
プロトコル up_81a370	スケジュールモードのセキュリティに、管理地域を指定しないユーザーを設定した場合、該当ユーザーでのスケジュールモード一覧に、そのスケジュールモードが表示されない不具合を修正しました。
プロトコル up_81a370	管理地域指定セキュリティが設定されているスケジュールモードが、指定されていない管理地域のユーザーでもスケジュールモード一覧に表示されてしまう場合がある不具合を修正しました。
プロトコル up_81a040	定例の仮予約スケジュールを予約管理者が一括更新した場合、予約承認情報が設定されない不具合を修正しました。

#### GlobalFlow

プロトコル up_fb30	帳票に押印者名「USER_NAME_EN」を指定した場合、ビューアーデータの帳票を表示すると壊れて表示される不具合を修正しました。なお、この不具合はVer6.16R00のみ発生します。
プロトコル up_fb30	起案時の帳票解析のときに、指定された帳票入力項目が登録されていない場合、「テーブル番号=0、エラーコード=8354」のデータベースエラーが発生する不具合を修正しました。
プロトコル up_fb30	分割保存または両方保存で保存したファイルを別メディアに移動できない不具合を修正しました。
プロトコル up_fb30	起案日と書類番号が同一の書類が同時に起案・遂行された場合、XML、CSV、ビューアーデータが保存できない不具合を修正しました。
プロトコル up_fb30	保存先のキャビネット、フォルダーのフォルダー登録／更新権、文書登録／更新権のどれかにグループだけが指定されている場合、保存できない不具合を修正しました。
プロトコル up_fb30	起案時点で「指定されたプロセスは既に登録されています」のエラーが発生する不具合を修正しました。このエラーは、以下の条件を充たす書類が起案された時点で発生します。  GlobalFamily サーバー Ver 6.16R00 以前のバージョン 所属が異なるテンプレートで、テンプレート名称の32バイトまで同じ文字の書類が存在する場合 同じ書類番号となる書類が同じ日に起案されていた場合

## 基本機能

プロトコル up_1060 up_1061	GlobalFamily 4.00でユーザーのカタカナ名を半角カナで登録し、GlobalFamily 2.3やWindowsクライアントでログインすると、GlobalFamily 4.00のグループメンバー表示で名称順表示の順番が不正となる不具合を修正しました。
プロトコル up_813070	サーバー環境設定の「所属グループ情報への管理グループの設定」が有効になっている場合でも、グループ管理者の管理グループが100件を超えるとグループ一覧画面に100件以降の管理グループが表示されない不具合を修正しました。なお、この不具合はVer6.16R00のみ発生します。
プロトコル up_812040	パスワード変更時のパスワードチェックにおいて、「パスワード桁数チェック」と「パスワード使用文字種チェック」が有効でも、「パスワードユーザーコード同一チェック」が無効な場合はチェックを行っていなかった不具合を修正しました。
プロトコル up_net up_811060	バージョンアップする前にログインしていたユーザーが、ログアウトせずにバージョンアップした後で、そのまま操作を続行するとメモリーエラーまたは接続不能エラーが発生する不具合を修正しました。なお、この不具合はVer6.16R00のみ発生します。

## ユーティリティ

ls_doc	キャビネット/フォルダー配下の全登録データサイズが1GBを超過する場合、-du オプションによるデータ使用率の表示が正しく動作しない不具合を修正しました。なお、この不具合はVer6.16R00のみ発生します。
up_sch03	スケジュール管理の保管切れスケジュール削除ユーティリティにおいて、保管切れスケジュールの添付ファイルが削除されない不具合を修正しました。

## 仕様変更

### GlobalSchedule

プロトコル up_81a840 up_81a841 up_81a842	会議開催スケジュールの登録または更新で、他管理地域のユーザーや会議室・施設を選択された場合、「他管理地域のメンバーは登録できません。」を表示するように変更しました。
--	--

## 基本機能

nt_ptop nt_bg	ワークフローの機能追加のため、nt_ptop,nt_bgの使用するスタックサイズを1MBから1.5MBに増やしました。nt_ptop,nt_bgのメモリー使用量が若干増加します。
------------------	---